

12月 定例会

江南町の編入に伴う関連議案等を可決

十二月市議会定例会は、十二月一日から十二月二十一日までの二十一日間を会期として開かれました。

この議会では、合併後の平成十七年度一般会計・特別会計・企業会計決算十一件を認定したほか、江南町の編入に伴う条例の制定・改廃、地方自治法の改正に伴う条例の制定及び一部改正、さらに、「熊谷市防犯のまちづくり推進条例」や、「平成十八年度一般会計補正予算（第三号）」などの市長提出議案百五十一件を審査し、百四十七件を原案可決し、四件に同意しました。

また、「熊谷市議会議員定数条例」、「熊谷市議会委員会条例の一部を改正する条例」などの議員提出議案二件を原案可決しました。

十二月定例会の概要

初日（十二月一日）の本会議では、閉会中に各常任委員会で審査した、合併後の平成十七年度の各会計決算の審査結果が報告され、すべて認定しました。

そして、市長から「懸案の合併については、来年二月十三日に江南町を編入することが正式決定となった。合併後は、面積約百六十平方キロメートル、人口約二十万五千人となり、農業、商業、工業のバランスがとれた県北最大の都市として、さらに重みが増すので、なお一層の飛躍を期していきたい。市税が増加傾向にある一方で、地方交付税

が減少している、本市の行財政運営は、依然として厳しい状況にあるものと認識している。今後とも、市民サービスの維持・向上を図るため、事務の簡素化、効率化を徹底し、より効果を上げることができるよう全力で取り組んでいきたい。

今回の補正予算案は、国・県補助金の内定に伴う事業費や決算見込みを勘案した所要の経費などの補正を行うものである。一般会計補正予算の主なもの、総務費では、妻沼行政センターの余剰スペースの有効活用を図るための改修費や産学との連携により熊谷地域ポータルサイトを立ち上げるための委託料等、民生

費では、埼玉県後期高齢者医療広域連合準備会への負担金等、衛生費では、水道事業会計出資額の変更等、農林水産業費では、集落営農組合の農業用機械導入費に係る補助金の計上等、土木費では、市道一〇一号線及び市道妻沼一三六三号線の道路改修経費等、教育費では、熊谷南小学校及び三尻小学校の校舎地震補強工事請負費等を計上するものである。この他、国民健康保険をはじめとする五つの特別会計及び水道事業会計の補正を行うものである。」旨が述べられました。

六日の本会議では、各議案に対して質疑が行われました。そして、江南町の編入に伴う合併関連条例議案を除く各議案は、所管の常任委員会に付託されました。

七日には、総務文教常任委員会及び福祉環境常任委員会において、また、八日には、市民産業常任委員会及び都市建設常任委員会において、付託された議案について審査が行われました。

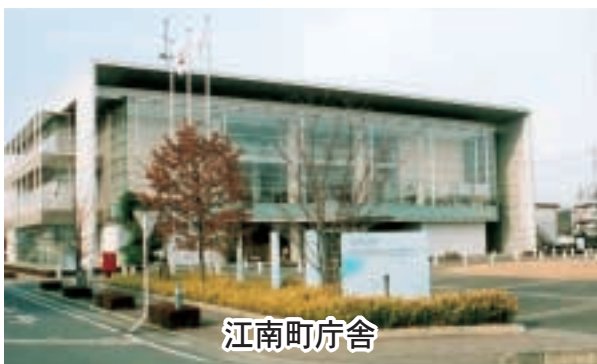
十三日、十四日、十五日、十八日の四日間は、二十四人の議員による市政に関する一般質問を行いました。

また、十三日には、議員提出議案の「高橋清美議員の辞職を勧告する決議」を原案どおり可決しました。

最終日（二十一日）の本会議では、各常任委員長から案件審査の経過及び結果が報告され、質疑、討論を行い、合併関連条例議案をはじめとした、市長提出議案をすべて原案どおり可決しました。

また、議員提出議案の「熊谷市議会議員定数条例」及び「熊谷市議会委員会条例の一部を改正する条例」を原案どおり可決しました。

そして、市長提出議案の人事案件四件に同意し、十二月定例会は閉会しました。



江南町庁舎